

シニアのためのパソコンスキル認定制度

「シニアITアドバイザー(Senior IT Adviser : サイタ)」発表

(株)富士通ラーニングメディア(代表取締役社長:金子武彦、本社:東京都大田区)は、シニアを対象としたパソコンスキル認定制度「シニアITアドバイザー(SITA:以下サイタ)」を発表、11月1日より受験申し込み受付を開始しました。「サイタ」は、パソコンスキルを習得し、更に豊かな生活を送りたいと考えるシニアの方々を対象としたスキル認定試験です。

「サイタ」は、【自分のスキルレベルを確認したい】【ステップアップの動機付けにしたい】【パソコンを周りの人に指導することにより社会的活動を行いたい】などの希望を持つシニアの方々が対象です。

1級から3級まで段階的な学習指針を示すことにより、各自のレベルに合わせた取り組みが可能であるとともに、より高い学習目標を持ってスキルアップにチャレンジしていただけます。

【開発背景】

富士通ラーニングメディアは、全国約100箇所でパソコン教室「[富士通オープンカレッジ](#)(※1)」を展開しています。1997年9月からはシニア向け講座『[シニア倶楽部](#)(※2)』を開講しています。

シニア倶楽部受講者・修了者は、全国で累計約3000人です。修得したスキルを何かに役立てたい、学習したことを他人に教えたい…というニーズが高まっています。一方で、シニアのパソコン学習環境は未整備であり、シニアからは「初心者の気持ちが理解できる」・「同世代だと安心できる」・などシニアインストラクターを望む声も高まっています。

加えて、行政を中心に「国民皆IT教育」の必要性が認識され、学校・公民館・郵便局等の地域の施設を使用し、国が助成し、住民向けにパソコン教室を開催してゆくとの方策も推進され始めています。

今後、初心者进行教える指導者の数の増加と質の向上はますます求められてきます。富士通ラーニングメディアでは、「サイタ」を通して、パソコンスキルの習得を希望するシニア、周りの人にパソコンを指導したいと希望するシニアの皆さまを応援してゆきます。

【認定内容】

認定カリキュラムは、目標別に1級～3級までの3段階に分け、合格者には各級ごとに、パソコンに関し下記のような技術レベルの保有者であることを認定します。

<SITA 1級>

初心者向け各種パソコン教室で、メイン講師を務めることができるレベル

<SITA 2級>

初心者向け各種パソコン教室で、サブ講師を務めることができるレベル

<SITA 3級>

パソコン初心者に対し、基本操作等の助言やアドバイスができるレベル

【開始時期】

3級認定試験 : 平成12年11月1日以降、インターネットで随時受験

2級認定試験(第1回) : 平成12年12月15日(以降、年4回実施)

1級認定試験(第1回) : 平成13年 3月16日 (以降、年2回実施)

【受験料】

3級 3,000円(税別)

2級 10,000円(税別)

1級 15,000円(税別)

【今後の展開と合格者目標】

合格目標	初年度 3,000人	試験地 9ヶ所のオープンカレッジ校
	2年後 10,000人	試験地 全国約100校

【申し込み詳細】

<http://www.flm.co.jp/oc/>

●報道関係お問い合わせ先
株式会社富士通ラーニングメディア
営業推進部 広報担当
TEL: 03-3730-3175(直通)
E-mail: tomita@flm.se.fujitsu.co.jp
URL : <http://www.flm.co.jp>

●お客さまお問い合わせ先
株式会社富士通ラーニングメディア
オープンカレッジ研修部
TEL: 0120-222-513

参考資料

【富士通オープンカレッジとは？】

富士通ラーニングメディアが平成8年4月より全国約100校で開催しているパソコンスクール。パソコン初心者から資格取得を目指す方までを対象とし、2時間単位の授業、1時間あたり受講料2000円、土日夜間開講、年間15万人が受講、延べ約40万人が受講。
今後全県へ展開する予定。

【シニア倶楽部とは？】

55歳以上を対象とした中高年のためのパソコン講座。現在約65ヶ所の富士通オープンカレッジで開催。専門用語や難しい操作を排し、縦書きのシニア向けに作成した専用の教材を使い、ゆっくり・じっくりとした受講ペースで、シニアのパソコン熱の高まりにより受講者・修了者累計3000人。

【免責】

- 認定試験に合格することにより、一定水準の技術の保持を認めるもので 公的機関等での講師資格を認定するものではありません。
- 就労を保証するものではありません。